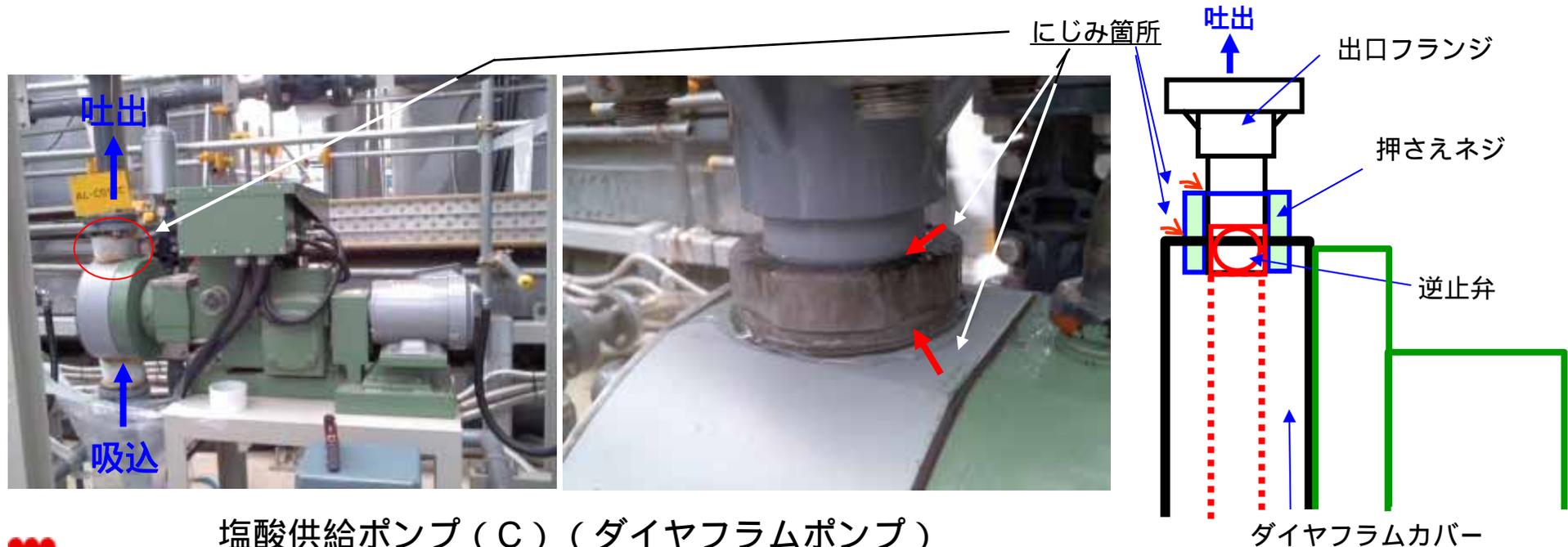


福島第一原子力発電所 多核種除去設備 C系 塩酸供給ポンプのにじみについて

< 参考資料 >
平成25年12月2日
東京電力株式会社

< 時系列 (12月1日) >

- 7:45 協力企業より、養生管理してあるにじみ発生箇所 の液溜まりが「通常よりも多め(約1L)」、「運転に支障は無いものの念のため手入れした方が良い」旨 当社に連絡あり。
- 8:55 当社、「C系の処理運転への移行を見合わせ、待機状態継続」を判断。
- 9:25 当社社員、現場確認(にじみ:1滴/10分)
- 11:25 にじみ発生箇所の隔離弁操作実施(にじみ:1滴/10分で継続)
- 14:10 にじみ発生箇所の内包液体のドレン操作実施
- 14:46 下流部ドレン操作完了(約4L)、12月2日の点検までの間はビニール養生



塩酸供給ポンプ(C)(ダイヤフラムポンプ)



当該箇所は、内包液(10%以下の希塩酸)のにじみが発生し易く、ウエス、ビニールおよびバケツで常時養生を実施している。

< 参考 > 塩酸供給ポンプの位置関係

